

事務事業名	雲南広域連合(環境)運営事業		所属部	市民環境部	所属課	環境政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	環境政策グループ	課長名 榎 博章
	施策名	〈10〉環境の保全・創造		担当者名	榎 博章	電話番号:0854-40-1033 (内線) 2125
	目的 対象	市民	意図 地域環境を守り、地球環境に配慮した生活をおくる。	会計	0:1:2:0	大事業 大事業名 し尿処理総務管理事業
	基本事業	〈029〉廃棄物(ごみ)の減量と適正処理の推進		科目	1:0:2:0	中事業 中事業名 雲南広域連合負担金(環境)
目的 対象	市民	意図 ごみを減量するとともに適正に処理する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市民	し尿、汚泥を適正に処理する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	雲南市、奥出雲町、飯南町のし尿、汚泥の共同処理に係る負担金を雲南広域連合に支払う。 (維持管理負担金・起債償還負担金・特別市町負担金(地方交付税分)の支払い)環境衛生調整会議への出席
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 負担金の支払い、雲南広域連合会議(環境衛生調整会議等)への出席	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 雲南クリーンセンター(し尿処理施設)の老朽化に伴い、H18年から1市2町で汚泥処理集約化等検討幹事会を組織し検討を進め、H25年度から、し尿・浄化槽汚泥・公共下水道汚泥・農業集落排水汚泥を一体的に共同処理する施設の整備を行い、H29年度に完成した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア し尿量	kl	3,695	3,395	3,171	3,170
イ 汚泥量	kl	15,367	26,194	17,692	26,057
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
負担金 し尿処理費負担金(し尿・浄化槽汚泥) 30,475千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	34,517	36,136	30,475	30,911	
事業費計		千円		34,517	36,136	30,475	30,911	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市民の生活環境の衛生保持に役立っている。
② 事業実施するうえでの課題	民間委託等行っているが一方で、今後一層の安定運用を行うため、引き続き効率化を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	H28年度に基幹部分(脱水設備及び受入設備)を整備。 H29年4月1日付けで下水道処理場へ転換。 H29年度は外構工事(付帯工事)を実施。H29年8月竣工。